



語字英原田 観

No. 754

2015/ 1/ 15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西目黒1-1-1072ビル

日中友好協会
岡山支部
〒713-8256
岡山市東3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遠島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:086(445)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



新たなつながりを求めて

— 宗教者九条の会に呼ばれる —

日中友好協会岡山支部 小林軍治

はじめに

2014年12月19日、岡山宗教者九条の会(資料1参照)の月例学習会(役員中心の10人程度)に、講師として呼ばれました。

今回私が呼ばれたのは、依頼文(資料2参照)に書かれている趣旨からです。演題は、「日中友好への展望」です。

写真でお分かりのように、ぎっくばらんな会でした。1時間ほど話し、質疑交流がありました。選挙直後で十分な準備ができませんでした。みなさん真剣に聞いてくださいました。今後も交流をつづけていきたいと思いました。

日本国民の自主的な運動としての

立場を強調

自己紹介のあと、協会本部が出版した「日中友好運動のあゆみ」の目次、

一、協会の創立と中国敵視政策のもとでの友好運動(一九五〇年〜一九六六年)

二、中国との関係断絶・日中国交回復と自主的な友好運動の発展

(一九六六年〜一九九九年)
三、協会と中国との関係正常化と運動のあらたな展開(一九九九年〜現在)

四、世界の大きな変化のなかで(日中両国民の相互理解の促進と友好の発展を願って)をもとに、これまでの歴史について述べました。とくに、中国

の文化大革命二期に確立した「日本国民の自主的な運動の立場」を強調し、日中不再戦運動、多彩な文化活動、中

国残留日本人孤児問題の解決などについて話しました。続いて、二〇一四年の日中岡山支部の議案書をもとに、中国

帰国者の日本語教室、七・七(盧溝橋事件)九・一八(柳条湖事件)などの日中不再戦のビラまき行動などを紹介しました。二〇一五年九月には、中国への正しい理解を広げるために中国百科検定に取り組むことにふれました。協会本部が編集した「尖閣問題」平和的解決を」とを参考に、私の考えを述べました。

戦争体験の正しい継承

今年で戦後七〇年になります。戦争体験者が亡くなったたり、高齢化したりする中で、日本の過去の侵略戦争を肯定・美化する動きが強まっています。日中岡山支部は、こうした現状のなかでDVD「泥にまみれた靴で」の上映などで「侵略戦争の実相」を浮き彫りにする取り組みを大切にしています。

戦争体験の継承も被害体



— 運動を通じて新たなつながりをつくる —

私が今回呼ばれたのは、二つの取り組みを通してです。一つは、二〇一四年四月から本格的に取り組んだ「望郷の鐘」満蒙開拓団の落日」の上映運動です。もう一つは、十一月二十四日に、全国の九条の会が呼びかけた「集団的自衛権の行使に反対」する、全国統一行動への取り組みです。

いずれにも岡山宗教者九条の会世話人代表の宮本光研(長泉寺住職)さんと役員磨田俊司(カトリック岡山教会)さんが参加され知り合ったことにより。さらに、岡山高教組時代に一緒に活動した鈴木実さんが「会」の事務局長を担当されていることなどが重なって、今回呼ばれ、新たなつながりができました。

(資料1)
私たち宗教者九条の会は、仏教系・キリスト教系・神道系の信者と良識ある市民によって構成され、平和憲法を生かすために結集された団体です。
110名ほどの賛同者のまだ小さい組織です。月1回は何らかの活動をしています。

(資料2)
嫌韓・嫌中と国内には排外主義が政権の友好的な黙認のもと、広がっております。人権問題であり、これからの北東アジアの平和友好関係にも大きな障害となる一要素でもあります。私たち日本国民はこれにどう向き合っていくべきか、従来から友好関係の構築のために活動されてきた先生達の経験から学ばせていただきたいと思います、望んでおります。

小林軍治さんの話を聞いて

おかやま宗教者九条の会 宮本龍門

おかやま宗教者九条の会（事務局・長泉寺内）が隔月で主催している「冗条と宗教を語る会」の第17回目講師として、小林軍治さんにお越しくださいました。

小林さんは、1942年満州国東安省林口県竜爪村のお生まれで、日本敗戦とともに残留孤児となられたが、4才のときに御尊父と奇跡的な再会を果たし、日本に帰ることができたという経験を持たれている。以来、日中友好を願うとともに、日中不再戦、

憲法九条を活かす道を歩まれている、今回は日中友好協会での活動のほか、尖閣問題をはじめとする様々な日中間の問題とその解決へ向けた取り組みなどについてお話をいただいた。

特に印象的だったのは、竹島や尖閣の問題がなかなか進展しない状況に対して、「軍力や理屈では解決しない」と明確におっしゃられたことだ。

国と国の利権争いに終わりは無い、というのがいわば結論であろう。将来的には、ヨーロッパが成し得たように、それがいわゆる「東アジア共同体構想」かどうかはわからないが、日中韓のほか、ロシア、フィリピン、ベトナム等々を含む何かの共同体を構築していかなくてはならないし、それ以外に領土問題の解決はないだろうという小林さんご意見に深く共感する。

いつか来るその日の為に、政情に流されず民間交流を続け、異文化コミュニケーションを着実に努めておられる日中友好協会の活動に心から敬意を申し上げます。

中国語講座・土曜日クラス講師

張燃老師の自己紹介



みなさん、こんにちは。2014年8月から岡輝公民館で

中国語講座の先生を担当させて頂いています張燃と申します。毎週土曜に5人の生徒さんと一緒に中国語勉強の時間を楽しく過ごしています。

2003年の4月に中国の河南省から日本に来ました。地元開封市は昔北宋をは

じめ、7つの時代の都であり、中国では最も歴史が古い都市のひとつです。現在も都の雰囲気は漂っています。中原地区では観光ももちろん、屋台も名物として多く知られています。

日本で働いていた親戚の勧めで、日本の大学の留学生受け入れ制度がよいと聞き、また多角的な視野を養えることなどで、日本留学を決意しました。当初、親戚の家で下宿しながら日本語学校に通いました。その後、香川大学に進学し、毎日マリノライナーと琴電で二年間ほど電車通学生生活を過ごしました。日本ならではの県外への電車通学生活をすっかり味わいました。

大学時代に、バスケットボールのサークルに所属していました。サークル生活を通して日本人の学生生活を味わい、もつと馴染みたい気持ちがあったからです。今までなかった上下関係の厳しさと楽しさを両方サークル生活で体感していました。

大学学部に留学生が私一人しかいなかったため、最初は寂しく思いました。どう日本人の学生と接すれば良いか、授業内容を理解できなかったらどうしようと、たくさん心配がありました。周りの同級

生がとても優しく接してくれました。隣に座ってくれたり、一緒に食堂に行ったり、親切に付き合ってくれました。先生たちもキャンパス内で良く声をかけてくださったり、授業や生活のことを心配して下さったり、たくさん励ましも頂きました。このように無事に4年間の大学生活を終えました。

その後もつと大学で学んだことを深く研究したいと思いい、岡山大学の大学院に進学しました。大学と違い、専門知識を教科書ではなく、実験や文献を通して知ることになります。仮説を立てて実験を行い、その真否を証明することは大学院の仕事だと実感しました。この何年間、うまくいかないことが多かったが、決してめげずにたくさんの実験で証明していくのがやり甲斐だと思えます。

今まで勉強や研究にばかり没頭してきましたが、中国人として日中交流のために何もして来なかったことについて後悔しています。これから日中友好のために、少し、少しでも架け橋になるような国際人になりたいです。

次回の新聞送付作業は
1月21日(水)1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

石川 和
小林 和
小竹 内
竹内 製
坪井

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか？

97

竹内和夫



教科書をつくろう (15)

A.: 95で『二十四の瞳』の第2段落をローマ字で書いてみた。何回も読んで、わかったら、村の場所を地図に書いてみよう。これが練習問題(10)だ。できた人同士で見くらべてみよう。船で行くと？歩くと？どこをとおるのかな？

B.: 第2段落のつづきをかいてみますね。

Koocuu ga sugoku huben na node , syoogakkoo no seito wa yonen made ga mura no bunkyoozyoo ni iki , gonen ni natte hazimete , katamici 5 kiro no honson no syoogakkoo e kayou no de aru.(←本村)

C.: ローマ字で書くときに、n と ñ をどう区別して使うのですか？

A: 例を挙げてみるから、考えてください。

kanyuu	加入	と	kañyuu	勧誘	
kani	カニ	と	kañi	官位	簡易
kinen	記念	と	kiñen	禁煙	
genin	下人	と	geñin	原因	
sinai	しない	と	siñai	親愛	
zinin	自認	と	ziñin	人員	
sinyoo	屎尿	と	siñyoo	信用	
zeni	銭	と	zeñi	善意	
tani	谷	と	tañi	単位	など...

B: 音声のちがいは、n は、前舌と歯うら(～歯ぐき)でつくる鼻音だが、ñ は、後舌と軟口蓋でつくる鼻音だから、かなりちがう音だね。ただし pañ などは pan としても、まぎらわしいことはない。

つづく